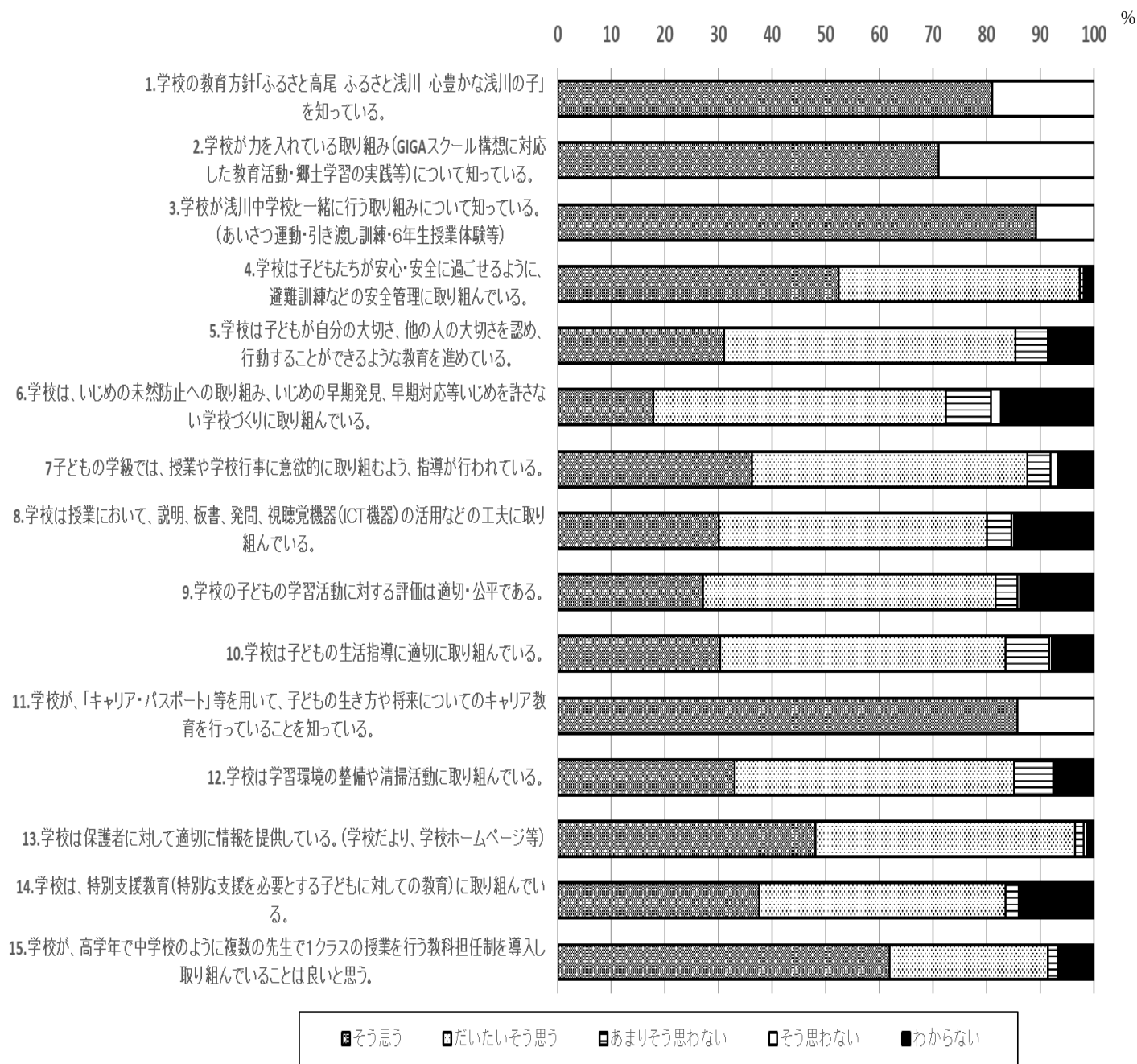


7月にご協力いただいた学校評価の集計結果がまとまりましたのでお知らせします。

- I 保護者アンケート結果について（1～2ページ）
- II 児童アンケート結果について（3～4ページ）
- III 学校関係者アンケート結果について（5ページ）

I 保護者アンケート結果について



設問 6 「学校は、いじめの未然防止への取り組み、いじめの早期発見、早期対応等いじめを許さない学校づくりに取り組んでいる。」

→ 昨年度に比べ、「そう思う」「だいたいそう思う」が微減しています。社会的にも、依然としていじめによる悲しいニュースはなくなりません。学校では、いじめ防止に向けた各学級・学年の様子を毎週火曜日の放課後に教職員全体で共有しています。また毎学期1回、各学級でアンケートを取って児童の様子を把握し、その都度学校全体で情報共有をして対応をしています。

今後多くの職員で対応していきますが、保護者の皆様も何かお気づきの点がございましたら、遠慮なくご相談していただけたらと思います。

設問 11 「学校が、「キャリア・パスポート」等を用いて、子どもの生き方や将来についてのキャリア教育を行っていることを知っている。」

→ 昨年度まで、キャリア教育に関する認知度が低かったことを受けて、今年度は学校が行っているキャリア教育の中心となる「キャリア・パスポート」の取り組みに関する認知度の確認をさせていただきました。認知度は8割を超える結果となりました。この「キャリア・パスポート」は小中一貫教育の取り組みでもあり、中学校へ引継がれていきます。年度末にはご家庭に戻し、お子様の1年間の成長を確認できるものになっています。是非ご確認いただけたらと思います。

設問 13 「学校は保護者に対して適切に情報を提供している。(学校だより、学校ホームページ等)」

→ 今年度も肯定的な回答が約9割を上回る結果となりました。各学年の授業や行事の様子、また学校の教育方針などの情報発信を積極的に行ってまいりました。特に宿泊行事では、ホームページの閲覧数も増え、保護者の皆さんに関心をもっていただいていることに感謝申し上げます。

今後とも、日々の教育活動の発信を行い、ご理解とご協力をいただきながら連携して取り組んでまいります。

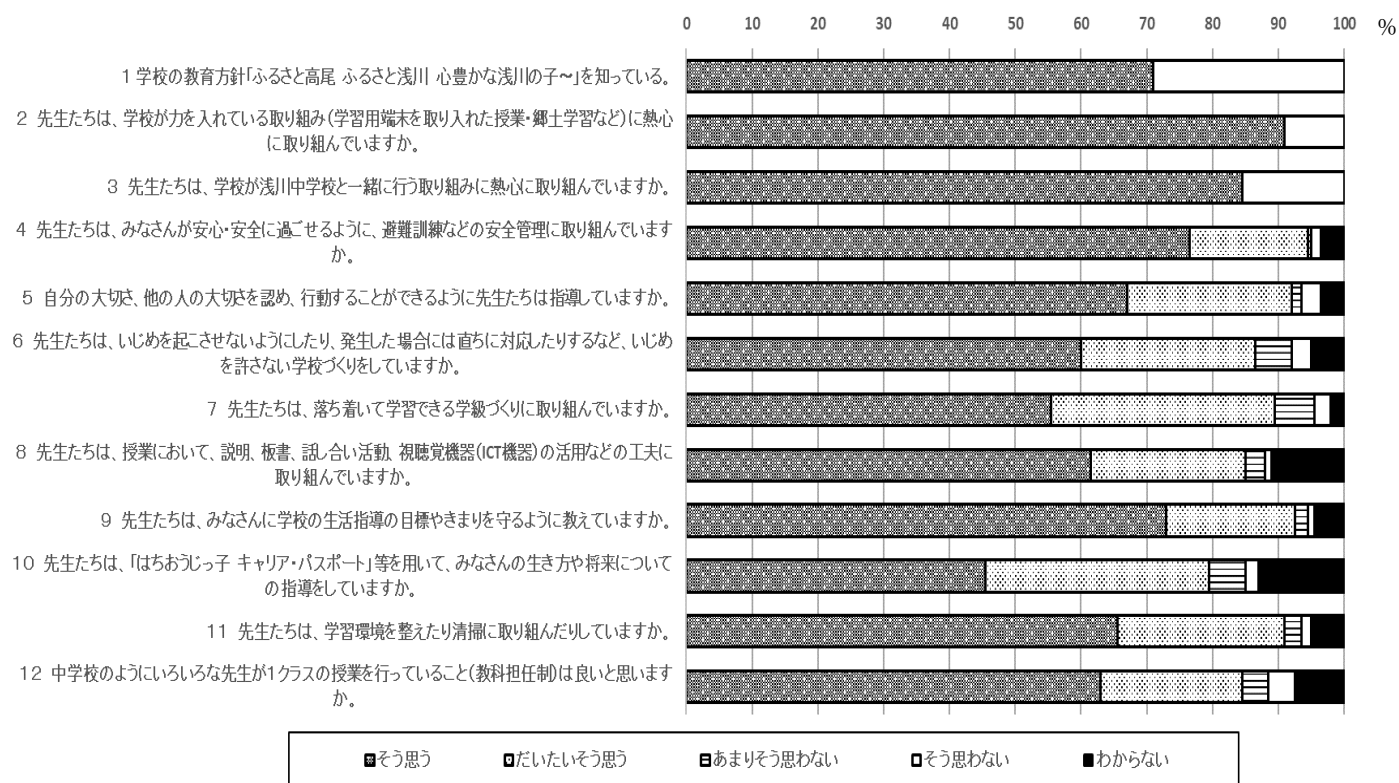
設問 15 「学校が、高学年で中学校のように複数の先生で1クラスの授業を行う教科担任制を導入し取り組んでいることは良いと思う。」

→ 今年度より追加されたアンケート項目です。本校では、文科省より打ち出されている教科担任制の導入について、東京都から指定を受けて取り組んでいるところです。取り組み始めて3か月ですが、9割を超える肯定的な回答をいただきました。既に実施している学校からは、メリットとして、「小・中学校間の円滑な接続」や「多面的な児童理解」などが挙げられています。本校しても、今年度の取り組みを検証しながら、教科担任制をすすめていきます。

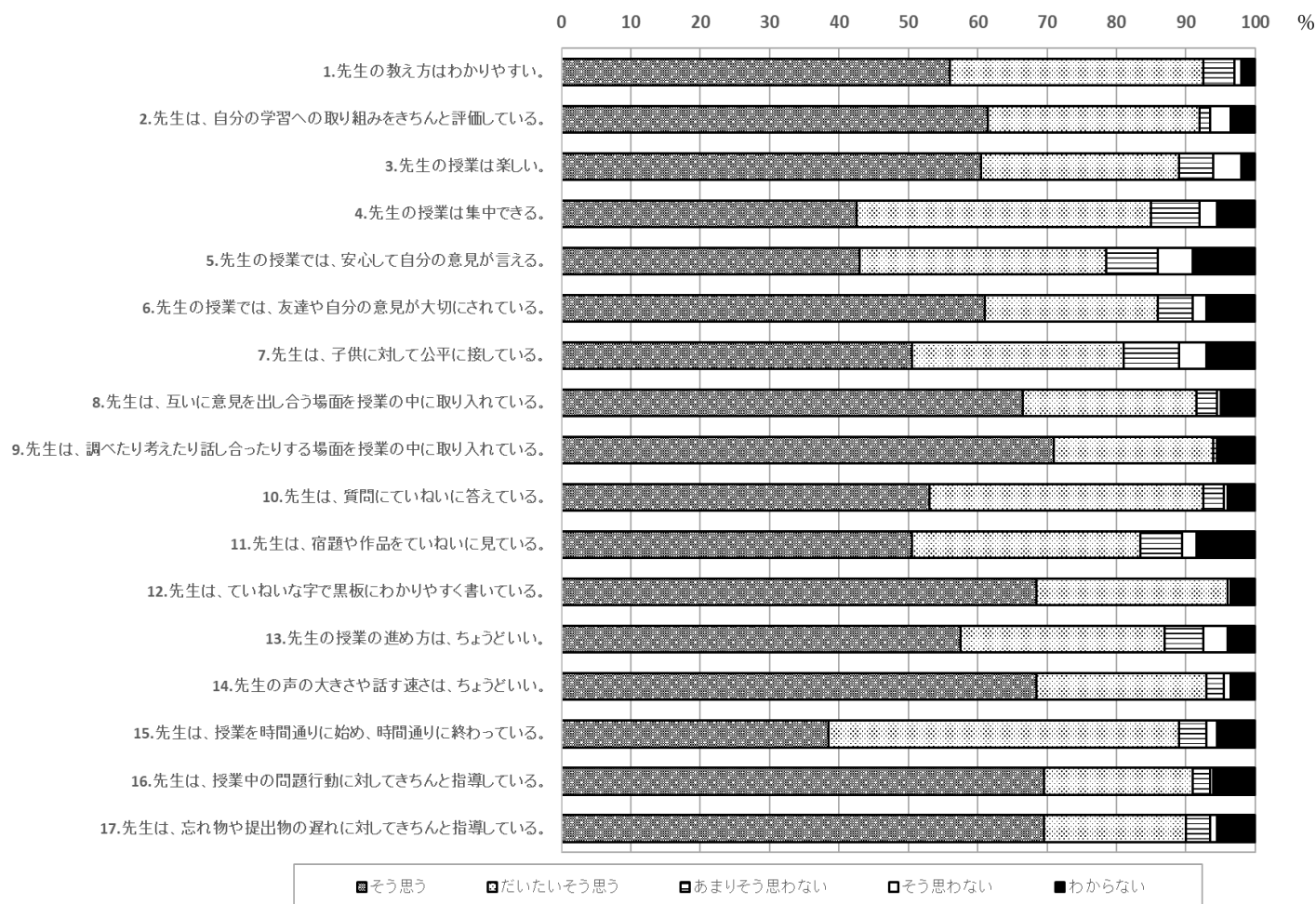
Ⅱ 児童アンケート結果について

※児童へのアンケートは、5・6年生を対象に行っております。

①児童アンケート



②児童授業評価アンケート



多くの項目で、肯定的な回答をした児童が8割を超える結果となりました。

①児童アンケート

設問5 「自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動することができるように先生たちは指導していますか。」

→ 昨年度と比べると1割ほど増加する結果となりました。増加した要因を断定することは難しいですが、今年度より導入された教科担任制において、担任だけではなく多くの先生から授業を受ける中でも、自他共に大切さを感じられる指導ができたことは、我々教員にとって一貫した思いが児童に伝ったことととらえ、うれしく思います。

設問9 「先生たちは、授業において、説明、板書、話し合い活動、視聴覚機器（ICT 機器）の活用などの工夫に取り組んでいますか。」

→ この項目は、昨年度より微増していました。例年高い割合を維持できています。本校では、GIGA スクール構想を受けて、確かな学力を育成すべく I C T機器を活用した教育活動に力を入れているところです。教員の I C T活用能力には、個人差はありますが、授業を見せ合うなどの研修を通してその差を埋めるように努めています。今後も学習内容に応じた最適な I C Tの活用をめざしていきます。

設問12 「中学校のようにいろいろな先生が1クラスの授業を行っていること（教科担任制）は良いと思いますか。」

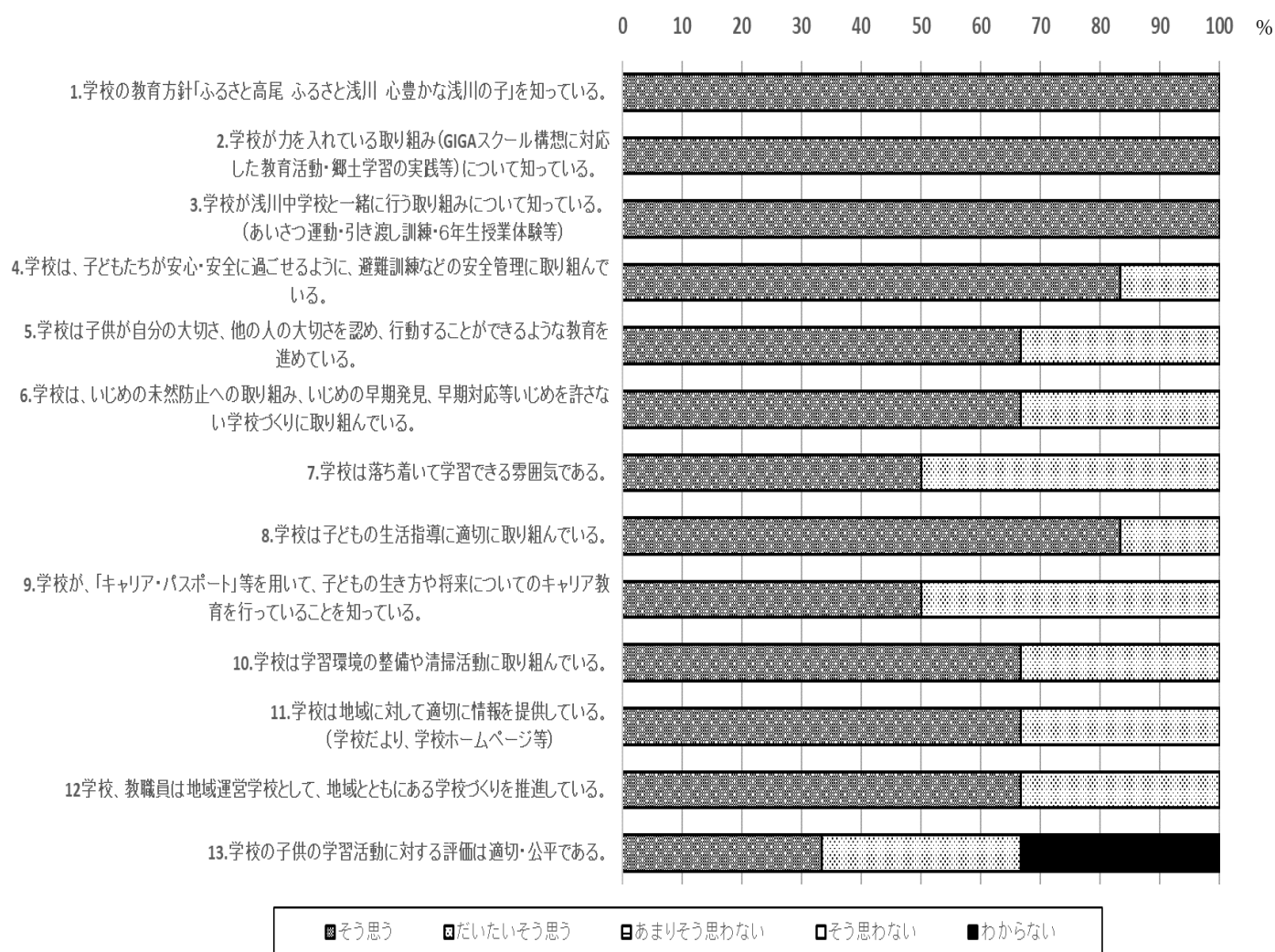
→ 保護者アンケートでも肯定的な回答が8割を超えていましたが、児童アンケートでも8割を超える結果となりました。また、前後しますが、②児童授業アンケートでは、授業に関する項目が、昨年度よりも1割ほど増えました。今回は理由を回答してもらっていないので、詳しくはわかりませんが、教科担任制の導入は、少なくとも授業の項目の結果にも影響があるのではないかと思います。メリットだけではなく、今後はデメリットも出てくると思いますので、児童の声も聞きながら取り組んでいきます。

②児童授業評価アンケート

→ 全体的に肯定的な回答が8割近くを超える結果となりました。これは、授業だけではなく、教員の日々の児童への関りにも反映されたのだと思います。

その中でも、肯定的な回答が低いわけではありませんが、設問5の「先生の授業では、安心して意見が言える。」の項目は、今後改善していくべきところだと思います。安心して意見を言える雰囲気は、教師と児童の関係だけではなく、児童同士の関係にも大きく影響してきます。意見を言いやすい雰囲気をつくる授業改善を行うと共に、教職員で共有する機会を設けるなど、児童理解や児童同士の理解にも努めてまいります。

Ⅲ 地域・学校関係者アンケート結果について



多くの項目で、昨年度同様、肯定的な評価をいただいております。誠にありがとうございます。

昨年度の開校 150 周年行事を通して、地域や学校関係者の方々と、多くの場面で様々な関わりをもつことができました。学校が大切にしているものが教育活動を通して皆様に伝わっているととらえ、感謝の思いでいっぱいです。今後も地域や学校関係者の方々の声をうかがいながら、教育活動を進めてまいります。

アンケートへご協力いただき、誠にありがとうございました。

自由記述にもたくさんのご意見をお寄せいただきありがとうございました。学校として対応することができる内容等につきましては、学校だよりで随時お知らせしていきます。ご協力ありがとうございました。